

漢方製剤

オースギ小建中湯エキスG

しょう けん ちゅう とう  
(小建中湯)

承認番号	(61AM) 第3885号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

貯法：室温保存  
「取扱い上の注意」  
の項参照  
使用期限：容器又は外箱に表示

【組成・性状】

- \*\* (1)本剤は1日量25.2g (または6包) 中、
- |           |    |            |    |
|-----------|----|------------|----|
| 日局 ケ イ ヒ  | 4g | 日局 カ ン ゾ ウ | 2g |
| 日局 ショウキョウ | 1g | 日局 シャクヤク   | 6g |
| 日局 タイソウ   | 4g |            |    |
- 上記生薬より抽出した水製乾燥エキス(小建中湯エキス)4.0g  
膠 飴 20g  
を含有する。  
添加物として、トウモロコシデンプン、ショ糖脂肪酸エステル  
を含有する。
- (2)本剤は淡灰茶褐色の顆粒で、特異なおいがあり、味は甘く、残留性である。  
識別コード： SG-99

【効能又は効果】

体質虚弱で疲労しやすく、血色がすぐれず、腹痛、どうき、手足のほてり、冷え、頻尿および多尿などのいずれかを伴う次の諸症：小児虚弱体質、疲労倦怠、神経質、慢性胃腸炎、小児夜尿症、夜なき

【用法及び用量】

通常、成人1日25.2gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

(1)重要な基本的注意

- 1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

(2)相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
①カンゾウ含有製剤 ②グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。〔重大な副作用〕の項参照	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が考えられる。

(3)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1)重大な副作用

- ①偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ②ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

2)その他の副作用

過敏症：発疹、発赤、痒痒等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(4)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(5)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

\* (6)小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少くない〕

【取扱い上の注意】

(貯法)開封後は、吸湿性があるので、フタをよく閉めて保存すること。

【包装】

500g  
1234.8g (4.2g × 294包)  
352.8g (4.2g × 84包)

【文献請求先】

大杉製薬株式会社 医薬情報部  
〒558-0056 大阪市住吉区万代東2-1-33

発売元

大杉製薬株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2

製造元

高砂薬業株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2